

心和む、美濃の三館。



岐
阜
県
美
濃
市

三
館
め
ぐ
り

旧今井家住宅・美濃史料館

美濃和紙あかりアート館

美濃和紙の里会館

3館共通入館券
大人(高校生以上)800円

旧今井家住宅・美濃史料館

縁側で耳をすませば、
静寂の中に漂う水琴窟の音。
目をとじれば、
心に響く江戸商人の心意気。

江戸の豪商たちが富と粋を競った、
芸術的な「うだつ」が見られます。

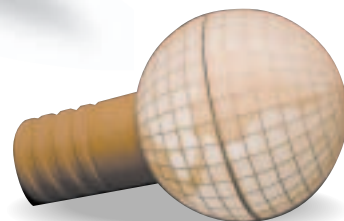


心 和む、 美濃の 三館。

美濃和紙あかりアート館

和紙に包まれ、
辺りを彩るあかりたち。
幻想的な異空間…。

秋の夜に浮かび上がる、
あかりアートの町並みを再現しました。



美濃和紙の里会館

丹念に、根気よく、
じっくりと…。
秀逸された
腕と心の一体技。
1,300年前から続く
和紙の傑作。

美濃和紙の約1,300年の
歴史と、未来の
可能性を追求しています。



国選定重要伝統的建造物群保存地区
「うだつの上がる町並み」と
地域団体商標に登録された「美濃和紙」。

三つの館をめぐって、
江戸から現代へと伝えられてきた
美濃市の“心”を感じてみませんか。

in
MINO



葉ずれの音や虫の声、
水琴窟の澄んだ音。
凜とした空気が漂う
清浄な空間。



心を鎮める、その趣。

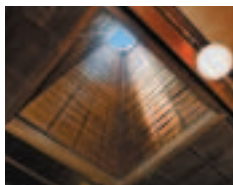




旧 今井家は、最も古いうだつ軒飾りの形式を残しています。ここでは、江戸末期から昭和16年ごろまで庄屋（納税や役所の事務）を勤めてきた和紙問屋。家の東と西で様式が異なることから、江戸中期に建てられ、明治初期に増築されたといわれています。間取りは市内最大規模。奥の6室が他よりも一段高くなった上段造りとなっているのも大きな特徴です。



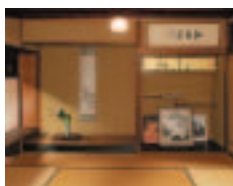
●帳場
玄関を入ると帳場があります。紙問屋を営んでいた昔、商いに使われていました。帳机・帳筆筒・小間よせ・接客用火鉢などが往時を偲ばせます。



●明かり取り
天井から空へ向けて切り取られた明かり取りは、明治時代の改築によって取り付けられたものです。天井からの高さは約3メートルあります。

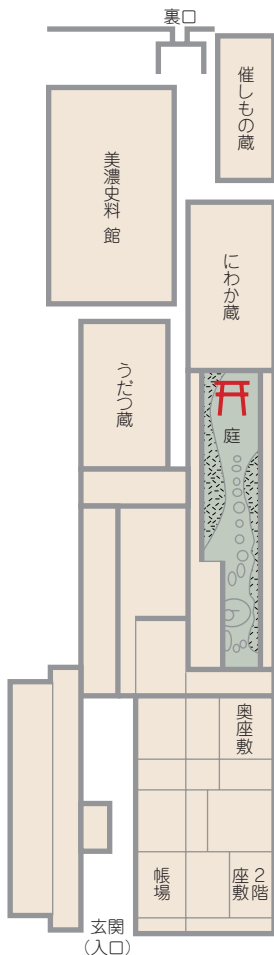


●2階納戸
30畳ほどあり、納戸や使用人部屋として使われていました。天井はとても低く、屋根の形状に合わせて傾斜しています。今でいう屋根裏部屋です。



●奥座敷
床の間と、中庭が見渡せる10畳ほどの奥座敷は、豪商時代の栄華をうかがわせます。四季折々に彩られた庭と水琴窟の清らかな音が楽しめる客間です。

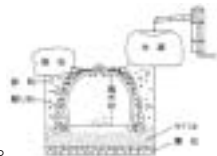
豪壮な、和紙問屋。
旧今井家
往時の繁栄を和紙に留める



■旧今井家間取り図



水 琴窟が響く情緒ある中庭も、旧今井家の自慢の一つ。水琴窟は江戸時代の文政年間
に考案されたといわれるもので、底に小さな穴をあけた瓶（かめ）を庭に逆さにして埋め込んだものです。茶室の入り口や手洗いなどの地下に造られる風流な仕掛けで、穴から落ちた水が瓶の中で反響し、琴のような涼やかな音が聴こえます。



環境庁が選んだ「日本の音風景100選」に認定されています。



●美濃史料館

●美濃史料館・うだつ蔵・にわか蔵
美濃市の古い歴史・文化、建造物に関する史料を展示しています。ほかに、うだつについて学べる「うだつ蔵」、郷土芸能である美濃流し仁輪加を紹介する「にわか蔵」もご覧いただけます。



●うだつ蔵



●にわか蔵

Data

岐阜県美濃市泉町1883 ☎0575-33-0021

開館時間 4月～9月 AM9:00～PM4:30

10月～3月 AM9:00～PM4:00 ※入館は開館時間の15分前まで

休館日 12月～2月の火曜日(3月～11月は無休)、祝日の翌日
※火曜日が祝日の場合は翌日休館、12月29日～1月3日

入館料 美濃和紙あかりアート館との2館共通券 大人(高校生以上)250円
美濃和紙あかりアート館 美濃和紙の里会館との3館共通券 大人(高校生以上)400円
大人(高校生以上)300円 団体(20名様以上)250円
大人(高校生以上)800円

金森長近がつくった江戸時代の商人町

美

濃市は、1,300年も昔から高い紙漉きの技術で全国に知られていました。政府直営の紙屋院（製紙場）の支所がこの地に置かれていたことから、その秀逸さがうかがえます。江戸時代になると、飛騨3万石を治める金森長近が領主となり、長良川畔に設けた川湊を水運の要衝に、小倉山城と城下町を築きました。しかし水害を避けて丘の上に築

かれた城下町は水利が乏しかったことから、防火や類焼防止のために、家々にうだつが設けられるようになったのです。その軒飾りは、次第に富を競うかのように凝った装飾となり、今も町家それぞれの造形が楽しめます。東西2本の通りと4つの横町でつないだ通りは、通称「目の字通り」と呼ばれ、文化庁の「伝統的建造物群保存地区」に選定されています。



●うだつのあがる町並み



●帳場



●土間にしつらえた台所



●屋号の入った傘



●昔の鬼瓦



●中庭

“富の象徴” “努力の報酬” であるうだつ卯建

卯

建（うだつ）とは、屋根の両端にある防火壁のことをいいます。火事が多かった江戸時代、せつかく築いた町を守るため、類焼を防ぐ工夫として設けられました。しかしこの“うだつ”を上げるためには、いっばしの店を構えなければならなかったのです。

かつては日本各地で見られましたが、年々その数が減り、今最も多く残っているのは美濃市常盤町・相生町・本住町・泉町です。中には、国の重要文化財として指定されている家もあります。

うだつ軒飾りの種類 うだつのある家が数多く見られ、国の重要文化財として指定されている家もあります。

●旧今井家（西）

鬼瓦が小さく、破風瓦の下に懸魚がありません。これは最も古いうだつ軒飾りの形式です。大きな特徴は、破風瓦が左右に二枚で構成されている点。他家は左右1枚ずつになっています。



●松久家

今井家より、少し発展した軒飾りが見られます。屋号を記した立派な鬼瓦と、人の字に反り返った2枚の破風瓦が見られます。破風瓦の下には、簡素な懸魚が取り付けられています。



●小坂家（国重文指定）

江戸時代から続く酒屋で、国の重要文化財に指定されています。鬼瓦がない軒飾りは、この小坂家のみ。簡素な造りですが、上方風の伝統を生かした美しいむくり屋根が見ものです。



●加藤家

後ろ半分に古いうだつが残されています。小さな鬼瓦のあるうだつ飾りは、18世紀中期のものと考えられています。人型に反らさない“むくり”の破風瓦は、界隈では唯一の形です。



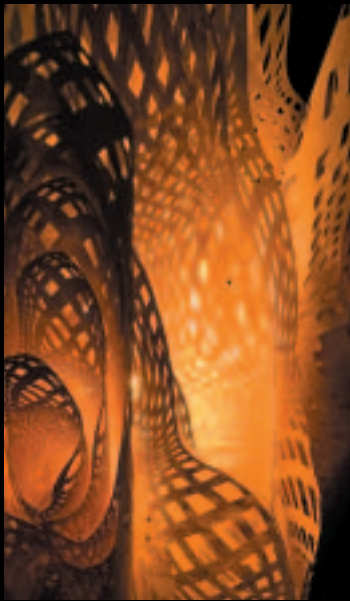
●平田家

明治初年の大火後に建てられた家で、建物に高さがあり、2階には座敷が設けられています。鬼瓦・破風瓦・懸魚など、うだつ飾りも江戸時代より立派で、見事な風格を見せています。





闇に浮かぶほのかな灯り。
和紙をまとった
やさしい光が、
異空間へと誘います。



心躍る、
灯りの饗宴。





幻想的な展示空間が広がる秋の夜の風物詩「美濃和紙あかりアート展」。うだつの上がる町並が、和紙を通した光で浮かび上がります。ミュージアム内では、このイベントを再現。いつでも独創的なあかりアートをお楽しみいただけます。常設展示室・企画展示室など、多数の作品をご鑑賞ください。

時を超え、空間を超え
美濃和紙あかりアート館
やさしく灯る



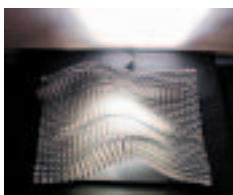
昭和16年ごろに建てられた旧美濃町産業会館と、旧名鉄美濃町線美濃駅本屋・旧名鉄美濃町線美濃駅プラットフォームおよび線路は、国の登録有形文化財に指定されています。産業会館は木造2階建のスレート葺で、外壁はタイル張り、上部下見板張り、正面の軒下には瓔珞飾りがあります。展示室だけでなく、外観の意匠にもご注目ください。



●第13回大賞作品 white breath



●第14回大賞作品 天使のせい



●第15回大賞作品 obob



●第9回大賞作品 抱月(HOUZUKI)



●第5回大賞作品 ふるさとのあかり

※展示作品は入れ替わりますのでご了承ください

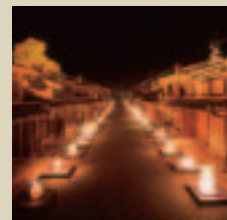


●ミュージアムショップ・無料休憩所

1階は和紙のあかりアート製品を販売するショップとなっています。展示室さながらに、芸術性の高いあかりアートがそろいます。無料の休憩所は、ご自由にご利用ください。

●美濃和紙あかりアート展
うだつの上がる町並のメインストリートを舞台に、多彩な美濃和紙あかりアート作品が展示されます。2日間だけの幻想的な世界をお楽しみください。

【日時】
毎年10月の体育の日の前の土・日曜日夕刻～pm9:00ごろ



Data

岐阜県美濃市本住町1901-3 ☎0575-33-3772

開館時間 4月～9月 AM9:00～PM4:30

10月～3月 AM9:00～PM4:00

休館日 火曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日

※火曜日が祝日の場合は、翌日休館

入館料 大人200円 中学生以下無料

団体(20名様以上)大人250円

旧今井家住宅との2館共通券 大人(高校生以上)400円

旧今井家住宅・美濃和紙の里会館との3館共通券 大人(高校生以上)800円

美濃和紙の里会館



1300年もの歴史と
現代の技術との融合。
和紙の世界は、未来へ
拓けていきます。



心華やぐ、和紙の殿堂。





世界へ発信する、
美濃和紙の里会館
紙彩の未来



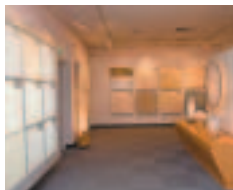
山の家々で1,300年前からすかれ続けてきた美濃和紙。当館では、その歴史や技術、和紙の素晴らしさや未来への可能性を、さまざまな視点から紹介しています。美濃和紙の歴史や技術、現代における和紙の展開と未来の可能性を紹介する常設展示室のほか、紙をテーマとしたユニークな企画展も行っています。



●第一展示室
楮の収穫から紙漉き、天日干しまでを工程ごとに紹介。



●第一展示室
紙すき職人が使う管(す)や簀玉の精緻な技術を紹介。



●第二展示室
現代の生活に和みある彩りを添える和紙。その可能性を追求します。



紙の原料となる質の良い楮と清らかな長良川・板取川の水に恵まれた美濃和紙は、美しく丈夫。現在では30人ほどの職人によって、昔ながらの技法にこだわった手作りの和紙がすかれています。紙すきのための道具も、1つひとつが専門の職人たちの手作り。紙すきの技術とそれを支える匠の技を楽しく紹介しています。



●ハイビジョンホール
華麗な紙すきの技や天日干し風景など、美濃紙の世界をご覧ください。



●ショールーム
アート作品からはがき便箋など、美濃和紙製品を取りそろえています。



●レストラン「花みこし」

Data

岐阜県美濃市蔵生1851-3 ☎0575-34-8111

開館時間 AM9:00～PM5:00

休館日 火曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日

※火曜日が祝日の場合は、翌日休館

入館料 大人500円 小中学生250円
団体(20名様以上)大人450円 小中学生200円
旧今井家住宅・美濃和紙あかりアート館との3館共通券
大人(高校生以上)800円

芸術性と可能性を追求した ユニークな企画展

紙

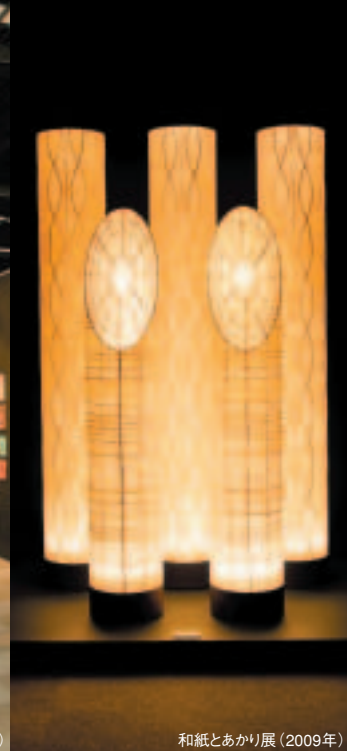
は、多くの可能性を秘めています。1枚の紙が、それを手にした人によって、便利な生活用品にも、芸術作品にも生まれ変わります。紙の千変万化をお楽しみください。



トイレトーパー考(2009年)



紙工房展(2009年)



和紙とあかり展(2009年)

紙漉きの奥深さ、楽しさを体感できるワークショップ



職

人が使う道具を用い、天然の原料を使った本格的な紙すき体験ができます。小さめの漉き舟(すきぶね)を使うので、お子様も楽しめます。

紙漉きの工程

- **ちり取り**
煮熟した紙料に付着している小さなチリやゴミを手作業で取り除きます。
- **叩解(こうかい)**
紙料を木づちで叩き、繊維を細かくほぐします。
- **紙すき**
漉き舟に紙料と水、粘液を入れて調整し、漉き枠で紙を漉きます。
- **脱水**
紙床を圧搾機に載せ、水を絞ります。
- **乾燥**
紙床から和紙をはがして干し板に張り付けて乾燥させます。

体験コースのご案内

※詳細はお問い合わせください。
※全コース、別途入館料が必要です。

- **美濃判コース**
伝統の“流しずぎ”で美濃判(約33cm×45cm)の和紙をすきあげます。
所要時間/約20分
料 金/500円
- **落水コース**
美濃判をすき上げ、シャワーをあてて模様をつけます。
所要時間/約30分
料 金/500円
- **照明・ついたてコース**
すき上げた紙を用いて、“あかりアート”や“ついたて”を作ります。
所要時間/要問い合わせ
料 金/紙すき体験500円、美濃和紙照明キット2,000円、ミニついたてキット1,500円
- **はがきコース**
溜めすきという技法で、オリジナルはがき(6枚)を作ります。
所要時間/約40分
料 金/500円
- **卒業証書コース**
学校・サークルの卒業証書や修了証書を作ります。校章やマークもすき込めます。
所要時間/要問い合わせ
料 金/700円
- **紙すき職人に挑戦1時間コース**
ちり取りや楮叩きなどの原料処理から、漉き舟の準備、紙すきを体験できます。(要予約)
所要時間/1時間
料 金/800円
- **紙すき職人に挑戦1日コース**
ちり取り・叩解・圧搾・紙料調整から、紙すき、乾燥までを体験できます。(要予約)
開催日時/平日10時~15時
料 金/3,000円

「うだつの上がる町並み」美濃市 三館めぐり繪地圖

旧今井家住宅・美濃史料館…美濃ICより2.5km
 美濃和紙あかりアート館…美濃ICより2.5km
 美濃和紙の里会館…美濃ICより1.5km



美濃和紙の里会館
 1300年もの歴史と現代の技術との融合。美濃和紙の世界は、未来へ、さらにその先へ拓けていきます。

旧今井家住宅・美濃史料館
 静寂の中に漂う水琴窟の音。うだつを上げた商家の心意気。江戸時代、豪商たちが富の象徴として粋を競った、芸術的な「うだつ」が見られます。

美濃和紙あかりアート館
 闇の中、ほのかな灯りの空間。やさしい灯りが、和紙の芸術をまとうてあなたを異空間へと誘います。

旧今井家住宅・美濃史料館
 岐阜県美濃市泉町1883 TEL 0575-33-0021
 開館時間 4月～9月/am9:00～pm4:30 10月～3月/am9:00～pm4:00
 ※入館は閉館時間の15分前まで
 休館日 12月～2月の火曜日(3月～11月は無休)、祝日の翌日
 ※火曜日が祝日の場合は、翌日休館、12月29日～1月3日

美濃和紙あかりアート館
 岐阜県美濃市本住町1901-3 TEL0575-33-3772
 開館時間 4月～9月/am9:00～pm4:30 10月～3月/am9:00～pm4:00
 ※入館は閉館時間の15分前まで
 休館日 火曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日
 ※火曜日が祝日の場合は、翌日休館

美濃和紙の里会館
 岐阜県美濃市蔵生1851-3 TEL0575-34-8111
 開館時間 am9:00～pm5:00
 ※入館は閉館時間の30分前まで
 休館日 火曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日
 ※火曜日が祝日の場合は、翌日休館